

## 2020年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2021年 3月 31日
研究・研修課題名	抗菌薬に関するモニタリングシステムの機能強化が適正使用へ与える影響
研究・研修組織名(所属)	感染制御部
研究・研修責任者名(所属)	森田栄伸(感染制御部)
研究・研修実施者名(所属)	石原慎之(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(抗菌薬の使用モニタリング強化)
該当者名(所属)	感染制御部
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有(抗菌薬適正使用支援加算) <input type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****① 目的**

2018年度より抗菌薬適正使用支援加算が新設され、当院においても抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を発足し、感染症の治療効果の向上、耐性菌出現のリスク軽減、抗微生物薬による副作用防止を目的として支援を行っている。一方、2020年度の診療報酬改定では、外来における経口抗菌薬の処方状況の把握も施設基準となり、今後はさらに詳細な抗菌薬のモニタリングや、介入・支援を行う必要がある。そこで、本研究では、感染対策支援システムの機能強化を行うとともに、現状の抗菌薬の使用状況調査を行った。

**② 方法****[1] モニタリング機能の強化(感染対策支援システムの機能強化)**

当院の通常診療に使用している「感染対策支援システム」の改修や機能強化を図り、AST活動のプロセス評価指標である抗菌薬使用密度(AUD)、抗菌薬使用日数(DOT)を、診療科毎および病棟毎に集計可能とする。

さらに、経口抗菌薬の長期投与患者の抽出を、併せて可能とする。

**[2] 抗菌薬使用状況の評価**

支援システムの機能強化前のAUD、DOTの推移を評価すると共に、新システム機能を用いた診療科毎の集計により、抗菌薬の使用状況を評価する。

**③ 成果****[1] 感染対策支援システムの機能強化**

本助成金を基に、感染対策支援システムの機能強化を実施した結果、AUD、DOTを、診療科毎や病棟毎において、入院患者延べ日数をふまえて集計することが可能となった。すなわち、ASTの担当者が必要時に、診療科毎や病棟毎の抗菌薬使用状況を任意期間で集計することが可能になり、迅速な状況把握や介入、支援につながるに至った。さらに、経口抗菌薬においても、同様に抽出することが可能となった。わが国の薬剤耐性対策アクションプランでは、経口セファロスポリン、フルオロキノロン、マクロライド系薬の使用量を50%削減することを目標としており、当院でも取り組みを強化する必要がある。本支援システムの機能強化は、今後のAST活動や当院の

抗菌薬適正使用に大きく貢献することが期待される。

[2] 抗菌薬使用状況の評価

今年度（2月時点）の注射用抗菌薬の月間使用量（AUD）推移を示す（図1，2）。

11月、12月および2月の使用量が特に多く、直近4年間に於いても高い数値であった。そこで、その理由の検証に、本研究で機能を強化した感染対策支援システムを用いた。診療科別の注射用抗菌薬の使用量について、11-12月の平均使用量と直近1年間の平均使用量との差を算出し、グラフにした結果（図3）、二つの診療科では、11-12月の抗菌薬使用量が、平均よりも特に多かったことが明らかになった。患者数や重症感染症が多かったこと、新型コロナウイルス感染症などの影響も考えられた。一方、2月のAUDが高い理由としては、入院患者数が少なかったことの影響も示唆された。

今回新たに強化した感染対策支援システムの機能を用いたことで、詳細な解析や評価を迅速に行うことが可能であったことから、本研究の成果は当院の診療やAST活動において有用性が高いことが示された。

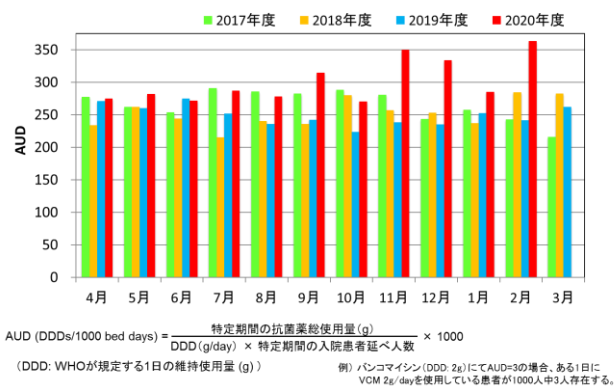


図1 当院の注射用抗菌薬の月間使用量推移

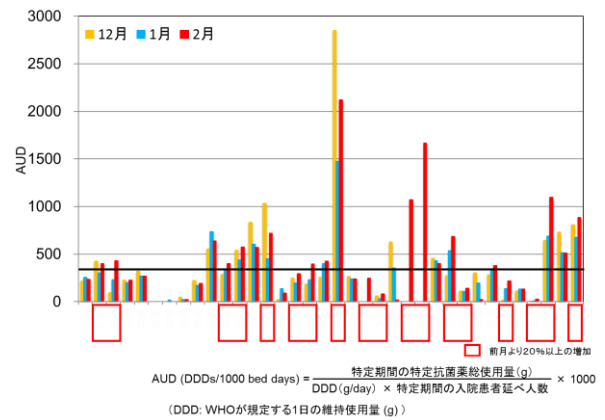


図2 診療科別の注射用抗菌薬の月間使用量推移

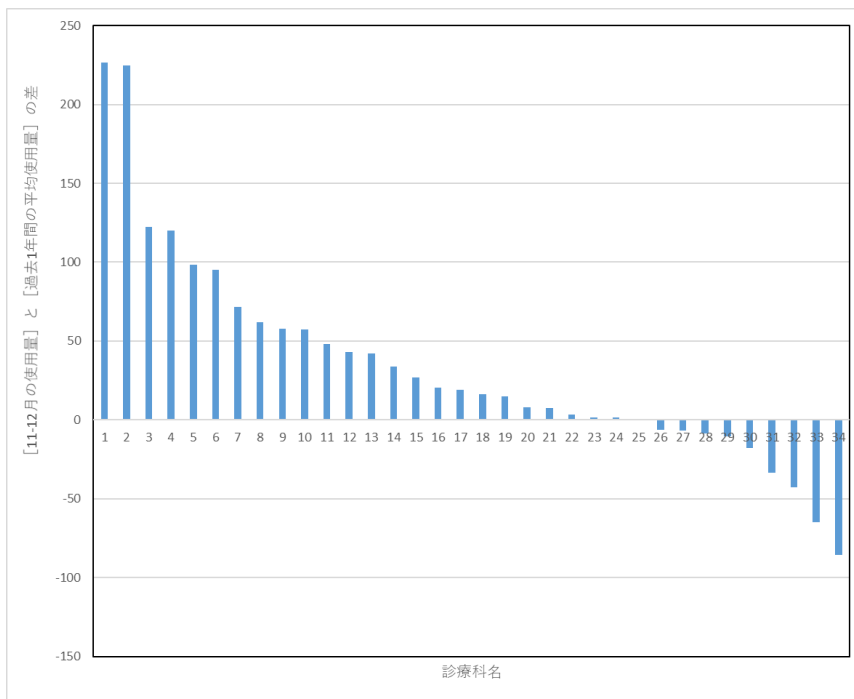


図3 新システム機能を用いた診療科別集計における注射用抗菌薬の11-12月の平均使用量と直近1年間の平均使用量との差